

## 第7回 川間台自治会・自主防災会役員会議録

日 時：令和7年1月11日（土曜日） 9:30～

出席者：矢野会長、吉田、間宮（総務）、田中、相馬、栗原（文化）、水野、馬場（防犯）、興津（環境衛生）、尾内、田口（福祉厚生）、松野、須田（自主防災）、江里（記録）

### 検討事項（提案審議事項と連絡事項）

- 1 役員任期について
- 2 役員の補充について
- 3 役員（会計）について
- 4 来年度事業計画案について
- 5 来年度予算案について

※ 冒頭、会長から、1班の齋藤友孝様のご逝去されたとの報告があった。

#### 1 役員任期について

◎現状の総則による規定では、役員2年、班長1年となっているが、これについてはこのままでよいか。

（主な意見）

・これからの新役員は、これまでの未経験者をお願いするケースが多いことが予想され、依頼しやすいように2年の任期を1年として、但し再任は可能とするのはいかがか。

・会長職は、多岐にわたるので1年では不可能。しかし、自分の現状では、いつ継続困難になるか不明な状況でもあるので、一応2年、但し再任は可能とすることで良いのではないか。（会長より）

・班長はこれまでも2年任期（正・副）の班もあるので、班ごとに班内で決めて良いのではないか。

・現状で2年連続で班長を担っている班はないし、逆に1年以内で変更されると、役員会として掌握しにくいので、1年間として良いのではないか。

（決定案）

○ 会長2年、その他役員と班長は1年とする。但し、会長及び他役員については再任は妨げないこととする。次回総会で提案。

## 2 役員の補充について

◎現役員は今年度末で任期満了となるが、その後の再任役員構成に欠員が生じた場合の対応方法について

(主な意見)

・(現状で欠員予想があるかという質問に対し)、再任を引き受けていただく役員も多いが、そうでない役員も現時点では3～4名予想できる。(会長)

・前回、チームとして補充を行うとする案もあったが、自分のチームの場合はそれは不可能である。

・考え方として、現チーム体制を変形して、複数チームを合体させていく方法もある。

・そのやり方は、1チームの仕事の幅を広くすることになり賛成出来ない。

(決定)

○ **役員会で候補者を選出し、役員が説得にあたることとし、各役員は、候補者を次回役員会まで探してくる。**

## 3 会計について

◎現行では会長が兼務しているが、課題(独占・業務負担等)が大きい為、来年度はチーム制を採用し、2名体制としたいが如何か。

・選出方法は、①現役員の中から ②役員会で候補者を選出する方法がある。

(決定案)

○ **検討事項2と同様とする。**

## 4 来年度事業計画案について

(1) 自治会来年度事業計画案について(資料1参照)

(主な意見)

・秋祭りや新年会は毎年ではなく、隔年開催でも良いのではないか。コミュニケーションの場合は、他でも作れるのではないか。

・秋祭りや新年会こそ貴重なコミュニケーションの場であり、こういう機会がないと、高齢化に伴いますます自宅内から出る機会を作れない。両方毎年開催した方がよい。

(賛成多数)

・川間地区体育祭とあるが、今年のようにウォーキングなら良いが、運動会になってしまうと本自治会からの参加は困難である。

・他のどの自治会も高齢化は同様であり、来年度もウォーキングとなる予定。(会長)

・敬老の品の配付について、今後さらに対象者が多くなるので廃止してもよいのではないか。

- ・予算の可能な限りは継続した方がよい。
- ・来年度役員数が減少したとしても、原案の事業内容くらいは場合によっては役員外の会員からも支援していただきながらでも、実施していきたい。

(決定案)

- **原案(資料1)どおり。**

(2) 自主防災会来年度事業計画案について(資料2参照)

質問、意見とくになし。

(決定案)

- **原案(資料2)どおり。**

## 5 来年度予算案について

(1) 自治会来年度予算案(資料3-1, 2参照)

(会長より主な箇所について説明)

- ① 「班コミュニケーション費」を0円としたのは、昨年の実績として班主体の開催がほとんどなかったからで、もし、開催される場合は、予備費から捻出する予定。
- ② 「中元・歳暮」を0円としているのは、東武鉄道に対し、集会所の土地の借用謝礼としてこれまで10,000円を計上していたが、東武側からも時代の趨勢による辞退の意が示されたからである。

(主な質問、意見)

- ・(質問) 現班長兼務の立場としての個人的な考えだが、今年度班主体でコミュニケーション会を開催し、来年度もそのつもりである。予備費から支出とのことだが、その場合、補助金はいくらになるのか。
- ・(回答) これまで通り、一人1,000円である。
- ・(意見) 予め支出が明確になっているのならば、0円としておくのではなく、少しでも計上しておくべきではないか。
- ・(回答) では、コミュニケーション費として30,000円を計上しておくので、予備費を192,810円に訂正する。
- ・(質問2) とんぼクラブ補助金が20,000円だが、以前のように50,000円をもらえないか。他の自治会の老人会ではもっと多額の補助金が出ているらしい。
- ・(回答) 数年前に20,000円に削減した理由は2点である。1点は、会員から、任意クラブの活動に自治会員の自治会費を使うことに対する疑義が提起されたこと、もう一つは、とんぼクラブは、市運営のいきいきクラブに加入しており、当該クラブから60,000円の助成金が支給されている。会費・競技参加費等で、やむを得ない費用

が80,000円(60,000円+20,000円)では足りないのであれば再考したいが、単に、遊興費(いわゆる「飲み食い費」)が足りないので自治会から補助願いたいというのであれば他会員に説明できない。市から、いきいきクラブから交付されている助成金も「飲み食い費用」は対象外と思うが・・・

自治会長としては、老人クラブとして、自治会活動とは別途に、区域の環境美化活動・防犯活動等を計画を立て、実施しているという実績があれば、とんぼクラブへの補助金を上げて他会員にも説明できると考えるので、そこをクラブ内で検討していただけないか。

・(質問者) わかるが、老人にとって遊興が仕事のようなもの。その辺も理解して欲しい。

・(他意見) 質問者の言う通りで、私もお年寄りにはできるだけ楽しく穏やかに過ごして欲しいし、まずはそのための居場所が必要。それが老人クラブなので、多くの人にそれに対する温かい目で見守って欲しい。

・(回答者) では、まずは先ほどのことをクラブ内で検討してみてください。

(決定案)

○ 「班コミュニケーション」について、来年度予算を30,000円計上し、予備費を192,810円に訂正する。その他、原案(資料3)どおり。

(2) 自主防災会来年度予算案 ((資料4参照)

(会長より主な箇所について説明)

① 収入の部「自治会からの支援金」について来年度0円になっている点および支出の部「防災機材購入費」の本年度と来年度の差異「-300,000円」に関しては、先ほどの説明のとおり。

② 「役員報償費」が来年度10,000円多くなっているのは、防災委員も支給対象とするためである。(資料4-2参照)

(決定案)

意見、質問とくになし

○ 原案(資料4)どおり。

<その他連絡>

※ 次回の役員会議は、2月2日とする。

以上

